

国家戦略特区シンポジウム2016
「改革市長による地方創生の取組み」



国際都市NARITAの挑戦 ～国家戦略特区を活用した医学部の新設～

平成28年9月12日
成田市長 小泉一成



国際的な医療人材の育成のための医学部の新設に係る基準の特例
(医師の養成に係る大学設置事業)

平成29年4月、**38年ぶりに**

※震災復興の特例を除く

成田市に医学部が開学

H28.8.31文部科学大臣により正式に設置認可

H27.11.27 区域計画認定

- 成田市は、医師不足の状況を改善し、地域医療の崩壊を未然に食い止めるため、以前から大学誘致に取り組んできた
- 昭和57年及び平成9年の閣議決定に基づき、医師の養成数を抑制するため、文部科学省告示で医学部の設置について規制
 - 千葉県内の医学部は、千葉大学の1校のみ
 - 千葉県の人口10万人当たり医師数は全国最下位レベル



世界最高水準の国際医療拠点を担う医療人材の育成

国際標準を上回る医学教育を通じて、**高い総合診療能力**を身につけた医療人材を育成



4つの附属病院や多くの大学関連施設での充実した臨床実習



大多数の科目で**英語による講義**を実施

世界最大級の「医学教育シミュレーションセンター」において実践教育を実施

定員140名のうち20名は東南アジアを中心とした**留学生を受け入れ**、将来母国の医療分野のリーダーとなりうる人材を育成

学術協定を締結している**海外の12の施設**で臨床実習を実施

国際医療福祉大学医学部医学科 国際医療福祉大学医学部校舎イメージ図
◦所在地: 咸田市公津の杜4丁目2 (京成電鉄 公津の杜駅から徒歩1分)
◦定員: 140名 (うち、20名は留学生)
◦規模: 2棟構成 1~2年生棟 (6階建) 3~6年生棟 (11階建)
◦敷地面積: 14,827㎡
◦建築面積: 5,518㎡
◦延床面積: 47,107㎡



医学部附属病院の特長

成田市内に**640床規模**の医学部附属病院「国際医療福祉大学成田病院」を新設予定

「**感染症国際研究センター**」や「**国際医療人材トレーニングセンター**」などを設置

附属病院の周辺には、研究施設や医療関連産業が集まることをめざす

東京オリンピック・パラリンピックが開催される**平成32年(2020年)**の開院を計画

約10か国語に対応できる**スタッフの配置**、**ハラル食**など各国の食事の対応、**宗教関連施設**を設置するなど**世界的なハブ病院**をめざす



国際医療福祉大学成田病院イメージ図



医学部新設の効果

医療産業の集積
と輸出の拡大

人口の増加

教職員(4,282人)+学生(756人)+雇用
(3,194人)=**8,232人**の人口増加

医療ツーリズム
の拡大



医学部の新設

経済波及効果

建設時=最大で**857億円**
消費時=、最大で**211億円**/年

※千葉県内の最大需要として試算

国際的な医療
人材の流入・
育成

国際的な医療
学会等の開催